

木の大学 講座のご案内

木の総合学

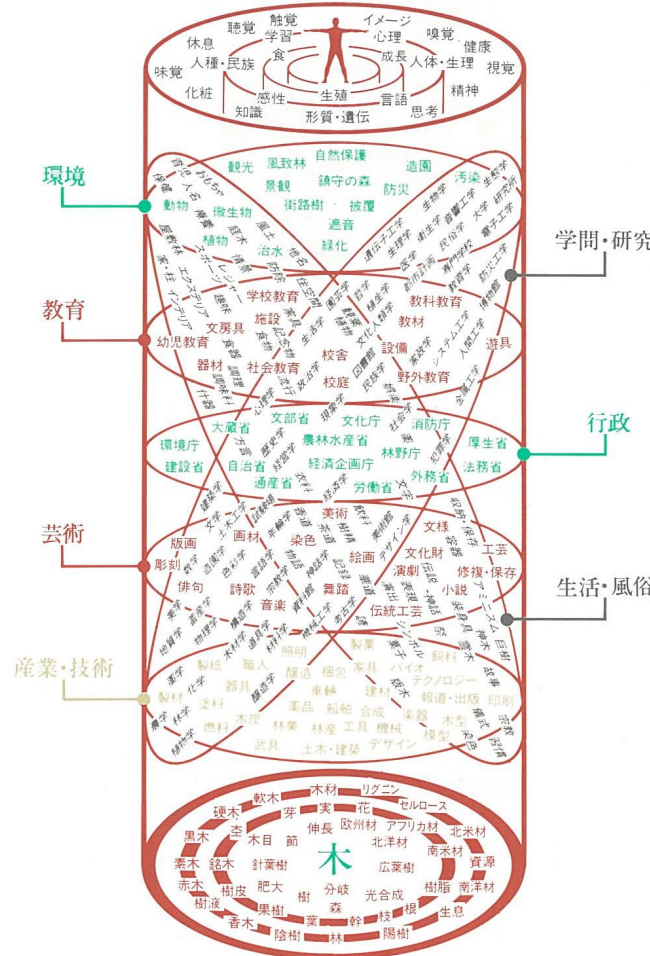
研究領域と構成要素

はじめに
有史以来、人間は、あらゆる生活・産業に「木」を利用し生存を維持して文化を発展させてきました。しかし、20世紀後半の石油文明・高度工業化社会の現出により、かつて人類が体験し得なかった化学物質や電子機器等の電磁波・放射光線をあび、無機質合成材料・人工環境に囲まれて居住する時代となりました。生体としての人間の基本的生理機能・形質は、古代より変わりませんが、自然環境及び資源、社会構造・生態面でさまざまな影響・変容がおきはじめています。

「木」は、日常、空気のように特別意識されることは少なく、数例を除くと、安全・無害が定性であります。木材や緑に拒絶反応を示す人はいないでしょう。もし、大気や水の生命循環の中核・バックアップ機能にならなくなれば、鳥や獣の動物・微生物類は消滅してしまいます。また、人間が増殖・再生産できる唯一の高度利用資源・有用素材です。「木」の事象は、物性のみならず精神・文化面でもさまざまな様相をもち、産業技術から教育・学問・芸術・行政などの諸領域に深く結びついてきました。地球生命圏の視座から、「木」と人間のかかわりを総合的に考究し、「木」の総合学を構築することは、未来デザインのひとつの重要な手がかりとなると思われます。

「木の大学」構想を具体化するにあたり、各分野の優れた研究者・専門家を迎え、横断学問的に科目を選択し、講座を実現するのはこびとなりました。開講にあたり、より多くの人々の参画・御力添をお願い申し上げます。

第7期講座は、地球サミット開催の年にあたり、環境・資源・生命系等、グローバルな視点から科目を編成いたしました。



© Copyright 1986

期 日 / 1992年8月1日(土)・13:00~8月4日(火)・17:00

会 場 / ゆかりの森センター・あかまつ宿舎
〒300-26 茨城県つくば市大字遠東633
電話：0298-47-5121

対 象 / 「木」の好きな人・「木」に関心がある方・「木」の研究者・「木」と人間のかかわりを学ぶ人。

定 員 / 35名、(年齢・性別・職業・学歴は問いません。)

第7期 / 「木」の生物学・「木」と民族文化・「木」と建築・「木」と講座科目 法律「木」とバイオテクノロジー・「木」と神話・「木」と流通

講座内容・科目・日程

	PM.13:00	PM.14:00	17:00
8月1日(土)	開講式 木の総合学 ガイダンス (Ⅶ)	●科目-1.「木」の生物学 木の進化・遺伝 —アフリカ・マダガスカルの木— 講師 湯浅浩史 (財)進化生物学研究所	★本の情報資料映像紹介 国内海外の図書・出版物 ★スライドセミナー①
8月2日(日)	AM.9:00 ●科目-2.「木」と民族・文化 ロシアの人と木 —森林・民話・信仰・文化— 講師 坂内徳明 一橋大学教授	12:00 昼休み	PM.14:00 ●科目-3.「木」と建築 北欧の木造建築 —自然と住居空間・構法— 講師 長谷川清之 日本大学教授 ★懇親会・パーティ
8月3日(月)	AM.9:00 ●科目-4.「木」と法律 「木」は法廷に立てるか —森林法・環境法・自然享受権— 講師 大西裕子 日本弁護士連合会 環境法 部 会長	12:00 昼休み	PM.14:00 ●科目-5.「木」とバイオテクノロジー きのこと森林 共生微生物 —松茸から熱帯林再生まで— 講師 小川 眞 (株)関西総合環境センター 生物環境研究所 所長 ★スライドセミナー②
8月4日(火)	AM.9:00 ●科目-6.「木」と神話 北 欧の神話 —世界樹・守護樹・叙事詩— 講師 米原まり子 神話研究者	12:00 昼休み	PM.14:00 ●科目-7.「木」と流通 木場の今昔 —江戸・東京を支えた材木— 講師 松本善治郎 元東京木材市場株式会社 閉講式

□ 第8期～第10期講座予定科目

「木」と水、「木」の職人、「木」と経済、「木」と文芸・詩歌、「木」の人名・地名、「木」と童話、「木」と宗教、「木」と花、「木」と昆虫、森林と動物、「木」とバイオテック、漆工、「木」の実、樹脂・油・炭、茶・飲料、「木」と健康・居住、「木」と絵画、収納・保存、「木」とクラフト、「木」のジョイントシステム、「木」の情報、その他。

1992年6月4日

木の大学運営委員会

- | | |
|-----------|----------------|
| 代表運営委員 | 阿部 藏之
横尾 哲生 |
| 中国地区担当 | 石丸 進 |
| 九州地区担当 | 車 政弘 |
| 沖縄地区担当 | 比嘉幸太郎 |
| 四国地区担当 | 高橋 健二 |
| 北海道地区担当 | 二本柳一穂 |
| 関西・中部地区担当 | 平田 哲生 |

■ 申込方法 / 別紙受講申込書に必要事項を記入の上、下記宛先に郵送して下さい。尚、申込多数の場合は、選考し第8期以後に登録させていただきますので、あらかじめ御諒承下さい。

■ 申込〆切 / 7月25日(土)

■ 申込書 / 〒390-02 長野県松本市美しが原三城8961
 郵送宛先 木の大学運営委員会事務局

■ 費用 / ● 受講料 24,000円(7科目分) ● テキスト・資料代 4,200円
 (宿泊・食事代・エキスカージョン等は、別途、実費負担となります。)

受講料は、全て講師招聘・講座費用に充当されます。
 [印刷・通信等の運営諸経費は含まれておりません。]
 受講できなかった場合、受講料は原則として返却いたしません
 が講義記録等をもって責務といたします。

■ 受講料支払方法 / 下記口座へ受講料・テキスト代[合計28,200円]を
 7月27日までにお振込み下さい。

口座番号：郵便局 郵便振替口座 東京No.5 -189655
 受取人名：木の大学 事務局

宿泊施設・設備

■ 宿 舎 / ゆかりの森センター・あかまつ宿舎

〒300-26 茨城県つくば市大字遠東633
 電話：0298-47-5121

■ 費用 / 1ユニット3室(エアコン付)・バスルーム・リビング・ダイニングルーム
 キッチン設備つき、自炊・調理することもできます。

● シングルルーム 4200円/日 ● ツインルーム 3700円/日
 [光熱費・消費税とも]

受講人数分を用意してありますが、自宅から出席される方や特別に要望がありましたら申込書連絡事項に明記して下さい。尚、木と健康という基本理念上、喫煙はできません。

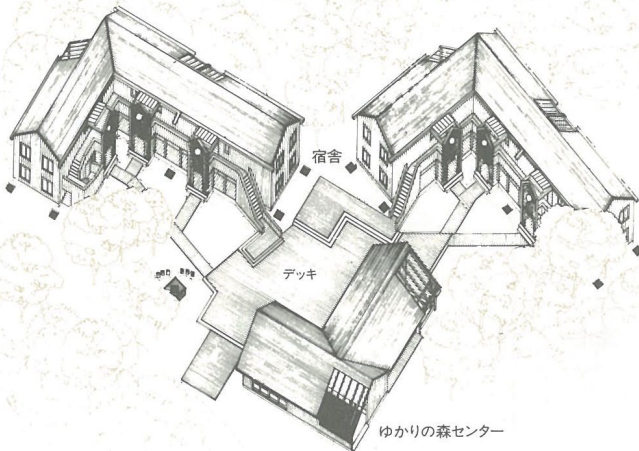
■ 食 事 / 例年、参加者の共同準備で割安な実費負担方式をとっておりますが、別の食事をご希望の方は、あらかじめ事務局へ連絡して下さい。

食料・飲料及び生活用品等は、近在のショッピングセンター(筑波)や商店を利用できます。

■ その他の必要事項は、事務局より申込者に直接通知します。

木の大学運営委員会事務局

〒390-02 長野県松本市美しが原三城8961
 TEL. 0263-31-2001, FAX. 0263-31-2951



交通

- ① 東京駅八重州口⇔筑波センター直行JRバス (1時間に2~4便)
 [東京⇔筑波センター間片道1,230円・所要時間約60分] ⇔宿舎間定時・送迎予定。
- ② JR・常盤線荒川沖駅下車・タクシー利用・25分(料金約4,000円)
 [上野-荒川沖駅 所要時間 60分・930円]
- ③ 車・常盤高速自動車道・谷和原I.C.又は谷田部I.C. 研究学園方面、西大通り(国道408号線)→平塚通り左折 約2km 日石G.S. 手前右折。



木の大学



© Copyright 1986

University
 to have, to be with Wood

1992 JAPAN